

事業所名

EMIRIA

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

8 年

3 月

9 日

法人（事業所）理念	当事業所は、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細やかな支援を提供します。					
支援方針	運営の方針に従って、児童が就学や将来の自立のために日常生活又は集団生活を営むことができるよう、コミュニケーション力、生活スキル、社会性等の向上を図るための指導、その他の便宜を適切かつ効果的に行います。					
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的スキルの獲得 利用時に、健康状態のチェックと必要な対応を実施していく。保育所等口頭で心身の状況を確認していく。 また、利用中に体調の変化がみられた場合は契約時にお聞きしている保護者への連絡、かかりつけ医に連絡など適切な対応を行う。				
	運動・感覚	・小集団での運動、感覚、動作の向上。・感覚の総合的な活用。・姿勢と運動動作の基本的技能の向上。 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、上肢、下肢の運動・動作の改善の習得。 子どもの発達段階及び特性に配慮し、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるようなサーキットトレーニングを行う。 必要に応じて専門職の個別での指導等。				
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得。・空間・時間・数等の概念形成の習得。・適切な認知と適切な行動の習得。 知覚から行動への認知過程の発達専門職（言語聴覚士）が環境から情報を取得し、認知過程を適切に評価し特性にあった関わり方に関する支援。認知の行動の手掛かりとなる概念の形成。 物の機能や属性、形、色、音、空間、時間の概念の形成を図る。				
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用 ・言語の受容及び表出。・コミュニケーションの基礎的能力の向上。・コミュニケーション手段の選択と活用。 専門職（言語聴覚士）が子どもを適切に評価。具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける。体系的な言語の習得、自発的な発声を促す。子どもの発達段階に応じた話し言葉や相手の意図を理解したり自分の考えを伝えるなど、言語を受容し表出する支援を行う。口の動かしや息を吹く等の習得。				
	人間関係 社会性	・他者との関わり方の形成。・自己の理解と行動の調整。・仲間づくりと集団への参加。・アタッチメントの形成。 人との関係を意識し身近な人との関係を築き、信頼関係を基盤に周囲の人と安定した関係を形成する。遊びなどを通じて人の動きを模倣することで社会性や対人関係を促していく。 感覚機能を使った遊びや運動機能を動かせる遊びの環境を整え発達段階に応じて見立て遊びやごっこ遊びなどへ促すための関わり方を提案。一人遊びから並行遊び、役割分担してルールを守って遊ぶといった遊びの育ちを促し社会性の発達を支援する。				
家族支援	お子さまに関する相談は随時受け付けます。必要に応じて関係機関とも連携を取りながらサポートしていきます。			移行支援	進級や小学校に向けて身辺自立などを見据えて支援目標や支援に内容を設定していきます。	
地域支援・地域連携	子どもが通う幼稚園や保育園との連携。 支援方法や相談に関する相談援助等取り組んでいる。 相談支援事業所との連携。			職員の質の向上	外部の研修や事業所内での研修や支援に対する意見交換など取り組んでいる。	
主な行事等	季節の行事（ハロウィン、夏祭り、クリスマス会等）。季節の製作。					